

新商品「叡山 ふくみ天平」を9月23日より比叡山延暦寺で限定販売



和菓子の製造販売を行う株式会社たねや（本社：滋賀県近江八幡市、代表取締役社長：山本昌仁）は、比叡山延暦寺（滋賀県大津市）より御用命を賜り、作りあげた「叡山 ふくみ天平」を2022年9月23日（金）から比叡山延暦寺で販売します。

「叡山 ふくみ天平」は天台宗の開祖・最澄とお茶の繋がりにちなみ、たねやの代表銘菓「ふくみ天平」に茶葉をくわえた手づくり最中です。粒餡で包んだ滋賀羽二重糯のお餅と最中種に細かく砕いた茶葉を入れ、茶葉をまるごと味わっていただけるよう仕上げています。

パッケージは比叡山延暦寺所蔵の国宝「金銅宝相華唐草文経箱」をモチーフにしています。蓋中央の書は第258世天台座主 大樹孝啓 大僧正によるものです。

・天台宗の総本山 比叡山延暦寺

京都府と滋賀県にまたがる比叡山を境内に、100を超す堂宇が点在する天台宗の総本山です。1200年以上にわたる歴史は延暦7年（788年）に最澄が創建した一乗止観院をはじめとし、修学修行の地として各宗派の開祖や名僧が比叡山で学んできました。

幾多の法難に遭いながらも人々の崇敬に支えられ、最澄の法灯と教えを真摯に守り継ぐ祈りの山です。



・パッケージについて

パッケージのモチーフとした金銅宝相華唐草文経箱（国宝・延暦寺蔵）は平安時代に作られたものです。一条天皇の中宮上東門院（藤原道長の娘）が書した法華経を納めた箱と伝えられます。

叡山 ふくみ天平箱意匠の蓋中央にあしらった書は、第258世天台座主による最澄が記した『山家学生式』冒頭の言葉。「一隅を照らす、此れ則ち国宝なり」は、自分が置かれた場所で精一杯努力し、周りを照らせる人こそ、国の宝であるという意味です。



▲金銅宝相華唐草文経箱（国宝・延暦寺蔵） ▲箱天面より

・最澄とお茶の繋がり

比叡山の東麓にお茶の種が植えられたのは延暦 24 年（805 年）と伝えられます。

最澄（伝教大師）が中国より種を持ち帰ったとされる日本最古といわれる日吉茶園にて守られたお茶。この由緒ある木を譲り受け、滋賀県甲賀市土山町で栽培された茶葉をお菓子に使用しています。

「叡山 ふくみ天平」は茶葉の味わいをお楽しみいただけるよう、最中種と餡に包むお餅に細かく砕いた茶葉を入れ、香り豊かに仕上げました。

京阪石坂線坂本比叡山口駅近くにある「日吉茶園」▶
広さ 100 m²ほどに茶木 20 本余りが植えられている



・〈商品詳細〉

商品情報

■商品名：叡山 ふくみ天平

■販売期間：2022 年 9 月 23 日（金）～11 月下旬

■価格：6 個入 税込 1,800 円

■販売店舗：比叡山延暦寺 一隅会館（9 月 23 日～25 日）、比叡山 延暦寺会館（9 月 26 日～11 月下旬）

※予定数に達し次第販売終了となります。

※たねや店舗・たねや公式オンラインショップでは販売の予定はございません。

・椿堂特別御開扉記念「椿もち」の販売

比叡山延暦寺では 2022 年 9 月 3 日から 12 月 4 日まで西塔地区にある椿堂が特別公開されます。

椿堂は聖徳太子が比叡山を登った際、地面に挿した椿の枝が育ったという伝説に由来するお堂。堂内とご本尊が初公開される記念として、たねやの「椿もち」とお抹茶のセットをご用意します。

滋賀羽二重糯を使った粗搗きのお餅でこし餡を包み、椿の葉ではさむ一品はラ コリーナ近江八幡（滋賀県近江八幡市）の季節限定商品。この機会にぜひご賞味ください。

■商品名：椿もちと抹茶セット

■販売期間：2022 年 9 月 23 日（金）～25 日（日） 各日 50 食限定

■価格：税込 1,000 円

■販売店舗：延暦寺会館 喫茶れいほう



会社概要

株式会社たねや

所在地：〒523-8533 滋賀県近江八幡市北之庄町 615-1

URL：<https://taneya.jp/>

設立：1872 年（創業 150 年）



【取材に関する問い合わせ先】

たねや・クラブハリエ 統括部広報室

TEL:0748-31-3844 E-mail:press@taneya.co.jp

※取材いただける際は、事前にご連絡頂けますよう御一報お願いいたします。

